

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	リユースびん（リターナブルびん）等の拠点回収	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html	(連絡先)	213-4960
		(評価票作成者)	まち美化推進課長 鈴木隆志

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価
17,924	27,900	現状のまま継続	24,500	指標：リユースびんの回収量
業務運営方法	☐ 直営 ☒ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 京都硝子壺問屋協同組合への回収及び選別、拠点回収機材等配備等の委託		かなり悪い 悪い 普通 良い かなり 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 110% 120% H20年度 H21年度 H22年度
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	京都市循環型社会推進基本計画（2009－2020）			事務事業の性格 ☐ 義務的事業 ☒ 任意的事業
開始時期	平成 16 年度	終了(予定)時期	平成 年度	類型 1 1 その他
				会計区分 ☒ 一般会計 ☐ 特別会計

事業概要	対 象	(誰を、何を) 一升びん・ビールびんを排出する市民
	活 動 内 容	(どのような手段で) 市の資源ごみ収集の中に混入されている繰り返し使用できるリユースびんを可能な限り回収するため、スーパーや小売店など市民が身近に持参できる場所に回収ボックスを設置し、市民にリユースの機会を提供する。回収したびんは、メーカーでリユースする。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) ワンウェイびんのリサイクルに比べ、環境に与える負荷が小さいリユースびんの利用促進を図る。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分		H20年度決算	H21年度決算	H 2 2 年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)		20,250	20,735	17,924	27,900	24,500
		需用費			249	195	520	563
	①'	委託料	回収及び選別等	20,250	20,486	17,729	27,380	23,937
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)		100.0%	98.8%	98.9%	98.1%	97.7%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)		6,341	5,895	5,756	5,756	5,804
		職員(課長級) (人)		0.12	0.06	0.06	0.06	0.06
		職員(課長補佐級、係長級) (人)		0.14	0.14	0.14	0.14	0.14
		職員(係員) (人)		0.40	0.45	0.45	0.45	0.45
		嘱託職員等人件費 (千円)						
	④	年間経費 (①+③) (千円)		26,591	26,630	23,680	33,656	30,304
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)			20,735	17,924	27,900	24,500
		国庫・府支出金 (千円)						
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)						
		その他(基金繰入金) (千円)			20,735	17,924	27,900	24,500
⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)		26,591	5,895	5,756	5,756	5,804	
⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

Ⅱ 評価結果

事業名 リユースびん（リターナブルびん）等の拠点回収

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	リユースびんの回収量	目標値 …①	t	82	90	99	108	109
		実績値 …②	t	76	76	82		
		目標達成度（②÷①）	%	92.7%	84.4%	82.8%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価	良い	良い	良い		
指標2		目標値 …①	箇所					
		実績値 …②	箇所					
		目標達成度（②÷①）	%					
	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価					
総合評価								

	指標の選択理由	目標値設定の考え方
指標1	市民にリユースの機会を提供し、リユースびんの利用促進を図るため、回収量を指標とする。	市民の環境意識の向上、及び、事業の着実な普及のため目標値を設定している。
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名
指標2		
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名
分析	<実績値の変動理由等> 回収拠点の周知及び増設や、エコまちステーションによるイベント等での臨時回収を積極的に行った結果、前年度及び前々年度に比べ回収量は増加した。	

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	リユースびんの回収量	t	76	76	82
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円	26,591	26,630	23,680
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	349,880	350,394	288,786
	④	単位当たり経費変動率			+0.1%	-17.6%
分析				評価	変わらない	かなり良くなった
	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の活動実績が増加したため効率性が良くなった。					

C 市民参加度	企画段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	<現状分析、今後の方針等> リユースびんの出荷量が減少している一方、資源ごみとして出されるなど、拠点回収の認知度がまだまだ低いので、引き続き啓発を行っていきたい。
	実施段階	☒ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☐ 無	
	評価段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	
D 市民満足度	<調査の有無> ☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない		<調査結果、現状分析等> 回収拠点の増設の要望があるため、ワンウェイびんの混入抑制の啓発を行うと同時に拠点数の拡大を図っていく。
	<調査方法>	<調査時期>	
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般		<現状分析、今後の方針等> リサイクルされる場合に比べ、CO2の排出量を約1/4に低減する温暖化対策効果がある。

平成23年度の実施状況	ワンウェイびんの混入抑制及び回収拠点の周知、啓発を図るため、市民しんぶん・ホームページ・資源物回収マップ等での広報を行った。また、回収拠点の拡大を図るとともに、各エコまちステーションにおいては、必要に応じて地域のイベント等で臨時回収を実施した。
-------------	--

市会・監査・外部機関等からの指摘	
------------------	--

Ⅲ 今後の方向性

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)	
現状のまま継続	引き続き、市民しんぶん・ホームページ・資源物回収マップでの広報や回収拠点での啓発を行い、ワンウェイびん等の混入対策及び回収拠点の拡大を図るとともに、臨時回収も行い、回収量の増加を図る。